

表2は基金の現金残高を示したものです。平成17年度に一般財源不足13億円以上を基金から用立てたため、一般会計の財源不足に対応できる今年度末の基金残高は1億7千万円しか見込まれません。

したがって、平成18年度以降は大幅な財源不足を生じることになり、合併に伴う財政的な効果が現れるまでの数年間は、現行の行政サービスを維持することが大変困難な状況です。

(表2) 基金残高 (現金ベース)

(単位：千円)

会計区分	基金名	合併時	平成16年度末	平成17年度末見込み
普通	財政調整基金	363,807	305,906	979
	減債基金	122,758	※ 682,159	184
	公共施設整備基金	22,399	22,399	409
	退職手当基金	16,390	3,089	95,164
	津布田一丁田地区かんがい排水施設維持管理運営基金	288	288	347
	労働施設積立基金	21,232	21,232	24,587
	新山野井工業団地かんがい揚水施設維持管理基金	3,305	3,305	4,427
	山陽都市計画事業厚狭駅南部地区土地区画整理事業基金	11,242	11,242	12,145
	新幹線厚狭駅整備基金	59,571	59,571	59,583
	地域福祉基金	286,198	160,399	13,318
	交通遺児基金	12,063	12,062	62
	教育文化振興基金	2,137	2,137	17,817
	土地開発基金	547,455	266,658	2,120
	国民健康保険高額療養費金貸付基金	10,000	10,000	10,000
	老人医療高額医療費金貸付基金	3,000	3,000	3,000
	介護保険高額介護サービス費金等貸付基金	4,000	4,000	4,000
	訪問看護	財政調整基金	11,002	11,002
国民健康	国民健康保険基金	424,541	424,543	424,543
介護保険	介護給付費準備基金	224,287	224,287	224,287
小型自動車	財政調整基金	2,115	2,115	2,115
	山陽小型自動車競走場施設改善基金	748	748	748
合計		2,148,538	2,230,142	910,857
うち一般会計の財源不足対応可能額		1,409,274	1,490,876	171,559

※平成16年度決算にかかる歳計剰余金処分を含む。

職員一丸となってこの状況乗り越えていきたいと思っておりますので、市民のみなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

【問い合わせ先 財政管理課 ☎ 82-1131】

特別職報酬等の減額案が市議会で可決されました

市議会議員の報酬 **25%** 減額
市長、助役の給料 **15%** 減額
※ともに年収ベース



総額約 **4,500万円** の減額
(年間)